

特集

JPS自動車切手部会が選ぶ

# 『自動車切手』ベスト50!!

毎年さまざまな国やテーマにスポットを当て、好評をいただいている“ベスト50!!”特集。今回はJPS自動車切手部会の皆さまにご協力をいただき、『自動車切手』ベスト50!!をお届けします。美しくてカッコイイ、自動車切手の数々をお楽しみください。(編) [構成・協力] JPS自動車切手部会



1位

電気自動車(郵便車)  
(アメリカ・1901年)

ベスト1に選ばれたのは、パンアメリカン博覧会記念の1枚として1901年に発行された自動車切手の一番切手です。この切手は最初の自動車であるカール・ベンツ車が作られた1886年から、わずか15年後に発行されました。題材となった自動車は、当時主流であった電気自動車です。この切手には、自動車が逆刷りされたエラー切手があり、自動車切手の中では最も高価で、最も収集しにくい切手です。[300%]

1位に選ばれたのは自動車の一番切手!

2位

プジョー・エクレール  
(モナコ・1995年)

タイヤ付き自動車100年記念切手です。最初の自動車用空気入りタイヤは、ミシュランによって作られ、切手の題材になった「プジョー・エクレール1895年型」に使われました。多色刷りでカラフルな切手が多い自動車切手の中では、珍しく単色刷りの格調高い切手です。



※2～3割、特記外、切手200%拡大。



3位

**KDF (現在のフォルクスワーゲン・ビートル)  
(ドイツ・1939年)**

1939年ベルリンモーターショー記念として発行された3種のうちの1種です。描かれている自動車は「KDF」で、アドルフ・ヒットラーの国民皆車構想を受けて、フェルディナンド・ポルシェが設計しました。KDFは、「喜びを力に」を意味しています。終戦で国民皆車構想は頓挫しましたが、戦後、「フォルクスワーゲン・ビートル」として復活しました。

**日本最上位は ダットサンロードスター&トヨタAA**

4位

**ダットサンロードスター&トヨタAA  
(日本・2000年)**

この切手のテーマは「国産乗用車量産開始」で、日本で自動車をテーマにして発行された最初の切手です。自動車デザインされた切手はこれ以前にもありましたが、発行理由は自動車以外でした。日本でも、欧米並みにもっと自動車をテーマにした切手を発行してほしいものです。[180%]



5位

**ルノー“マルヌのタクシー”  
(フランス・1964年)**

第1次世界大戦時、パリ郊外のマルヌでドイツ軍と戦ったフランス軍がバリのタクシー約1,200台を使って兵力を補充し、勝利しました。この時のタクシーを、尊敬をこめて“マルヌのタクシー”と呼んでいます。この戦いを契機に、軍が自動車を使用するようになり、自動車が飛躍的に発展しました。切手では、兵士を運ぶルノーのタクシーを描いています。

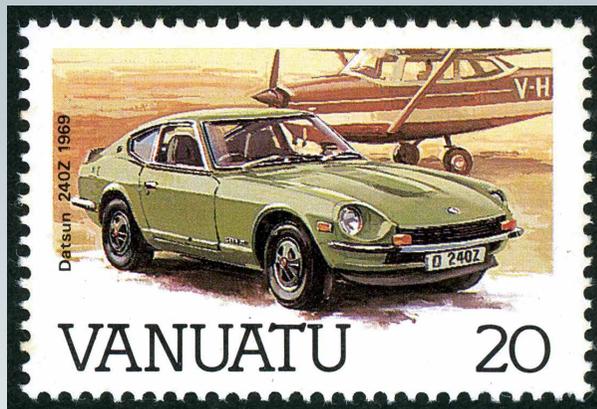




### 三菱ローザ(琉球・1967年)

6位

アメリカ統治時代の沖縄で発行された切手です。自動車切手は、自動車の型式が不明なものは一括切手とはいえ評価も下がりますが、この切手は印面いっぱいに自動車が描かれ、型式もはっきりとわかる本格自動車切手です。当時の沖縄だからこそ発行できた切手です。描かれた自動車は「三菱ローザ」。

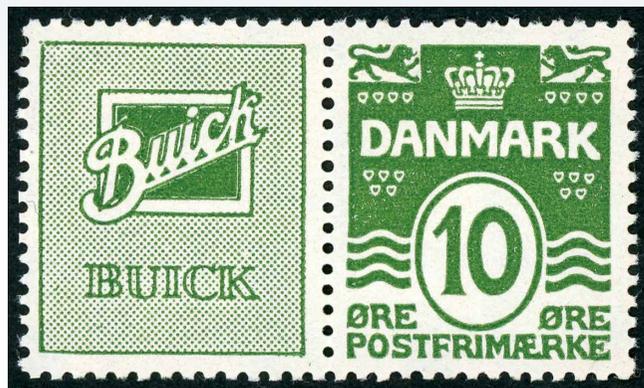


### ダットサンスポーツ240Z

(バヌアツ・1987年)

8位

世界中、特にアメリカで爆発的人気になった日産の「ダットサンスポーツ240Z」を描く切手です。ダットサンスポーツの切手は、世界各国から発行されていますが、最も自動車の特徴が表現されているこの切手を選びました。日本名は「フェアレディZ」です。



7位

※4～5分、特記外、切手200%拡大。

### ゼネラルモーター社の広告(タブ)

(デンマーク・1928年)

切手は一般的な普通切手ですが、タブにゼネラルモーター社の車のエンブレムまたはラジエターグリルが描かれています。このタブ付き切手は、シリーズ全部で23種が発行され、自動車切手としては高額なものもあり23種そろえるのが結構難しいのですが、自動車切手を展覧会に出品するときは必需品の切手です。

## ■自動車切手収集の現状

最初の自動車切手がアメリカから発行されたのが1901年(1位)で、その後、今日まで次々と世界各国から自動車切手が発行されています。2000年時点で、自動車切手と分類できる切手は約1万種とされています。2000年以降も世界各国から毎年多数の自動車切手が発行されていますので、現時点では相当な数の自動車切手が存在しています。

さらに毎年世界各国から多くの自動車切手が発行されており、すべての自動車切手を収集しようとすると範囲も量も膨大となるので、多くの自動車切手収集家は自動車切手をさらに細分化したジャンルで収集しているのが現状です。大きく分けて、自動車切手の収集ジャンルは以下のようになっています。

- ①クラシックカー切手の収集
- ②乗用車(セダン)切手の収集

### ③トラック・バス切手の収集

### ④レース車切手の収集

### ⑤自動車のブランド別切手の収集

### ⑥その他

## ■膨大な数の自動車切手から“ベスト50”を選定

『郵趣』編集部からの依頼である「自動車切手ベスト50!!」の選定を引き受けたものの、膨大な量がある自動車切手の対象範囲をどこまでにするか大変悩みました。部会会員で相談した結果、自動車切手部会が編集・発行した『世界自動車切手図鑑』(2007年)に掲載している切手から選定することにしました。これで対象範囲は明確になりましたが、『世界自動車切手図鑑』掲載の切手は2000年までの切手で、2001年以降の切手は含まれていません。2001年以降、現在までの16年間にも素晴らしい自動車切手が発行されているのですが、今回は残念ながらバス

9位



カール・ベンツ  
(ドイツ・1936年)

カール・ベンツ(1844-1929)は、1886年に今日の自動車の原点となるガソリンエンジンで動く3輪車を発明。現在、この自動車が世界の自動車第1号と認定されています(6頁・コラム②参照)。ベンツは、自動車の発明だけに終わらずに会社を作り、自動車生産を事業として自動車を世界に広めました。切手は、ベンツの出身であるドイツから発行されたものです。[240%]

10位



ゴットリーブ・ダイムラー  
(ドイツ・1936年)

ゴットリーブ・ダイムラー(1834-1900)は、カール・ベンツと並ぶ自動車の先駆者で大恩人です。1886年に4輪ガソリン自動車を作り、これが世界最初の4輪自動車と認定されています(6頁・コラム②参照)。切手はドイツから発行されたもので、自動車50年記念切手のうちの1種です。自動車にとって大恩人の2人に敬意を表して、ベスト10に入れました。[240%]

## 9位と10位には自動車の先駆者2人が登場!

ト50の選定対象から除外しました。

ちなみに自動車切手のカタログは、これまでに上記の『世界自動車切手図鑑』を含めて世界で3種類が発行されており、残りの2つはイギリスのギボンズとスペインのドムフィルから発行されています。

ベスト50の選定は、自動車切手部会会員に『世界

自動車切手図鑑』の中からベスト50にふさわしい切手を選んでもらいました。その結果、174種類の切手が選ばれました。この結果を受けて、臨時例会を開催し、例会出席者で最終的にベスト50を選定しました。選定の評価基準は次のとおりです。

①会員から重複して推薦された切手は選定

### コラム① 日本で最初に走行した自動車は?

日本で最初に走行した自動車は、いつで、車種は何かというのは諸説ありました。①1900年で皇太子献納車説、②1900年口コモビル説、③1898年パナール説の3つです。

①は1900年に皇太子ご成婚を祝ってサンフランシスコ在住の日本人会より電気自動車ウッズが献納されたという説です。この説が長い間日本最初の自動車の定説になっていました。ところが、トヨタ博物館の調査で日本で最初に走行した自動車は、③のパナール説だったことが判明しました。その発端が1898年に描かれた漫画で、この漫画をきっかけに調査を進めた結果、1898年パナール説になりました。でも、よく見ると漫画の自動車のハンドルは「丸形」ですが、当時のパナール車のハンドルは「棒式」でした。パナール車の日本での最初の写真が残っていますが、やはり「棒式」です。1898年パナール説は間違いのないと思われませんが、漫画には疑問が残ります。(協力: 牧野克彦)



▲1898年に描かれた漫画。外国人が乗るパナール車が描かれている。

◀パナール車を描くサンマリノの切手(1962年)。[80%]



ラリーカー(モナコ・1956年)

モナコは自動車レースが盛んな国で、関連する切手も多く発行されています。モンテカルロラリーは特に有名で、毎年記念切手が発行されています。最も格調高い1956年発行の切手を選びました。



シトロエン・トラクション7A(フランス・2000年)

シトロエンの名を不動のものにしたトラクション7A型1934年を描いています。それまでの自動車は、後輪駆動が常識でしたが、このシトロエンは、前輪駆動で大成功した最初の自動車でした。そのため、この自動車は「トラクション・アバン」(前輪駆動)との愛称で呼ばれています。



ジープ(リベリア・1945年)

アメリカ大統領フランクリン・ルーズベルトが、リベリアを訪問した際のジープに乗っているところを描いています。最近のリベリア切手は、いかがわしいものばかりですが、この頃の切手はまともでした。



**ドテオンブートン(オーストリア・1974年)**  
切手は、ドテオンブートン3輪車に乗るドテオン伯爵です。ドテオン伯爵とエンジニアのブートンによって作られた自動車で、フランス人の2人はイギリス人のロールス・ロイスとよく対比されます。

11位

12位

13位

14位

※6~7頁、特記外、切手150%拡大。

## ラリーカーやジープ、トラックにF1カーも登場!

- ②自動車切手として重要な位置づけの切手は選定
- ③自動車として重要な切手は選定
- ④自動車にとって重要な課題を示す切手は選定
- ⑤切手発行の怪しげな国の切手は原則除く

### ■全領域を網羅した多種多様な切手が選ばれる

こうした選定の結果、多種多様な切手が選ばれました。クラシックな単色の切手や今風のカラフルな切手、クラシックカーの切手や最先端のスーパーカーの切手、トラックやバスの切手、自動車の課題を提示した切手も選ばれました。また発行国も広範囲にわたりました。もっと特定の領域に片寄った結果になるのではないかと考えていましたが、自動車切

手の全領域を網羅した選定結果になりました。

### ■自動車切手収集の楽しみ

自動車切手収集の楽しみは、いくつかあります。1つは、切手収集本来の楽しみ方です。すでに膨大な量の自動車切手が発行されていますし、これからも世界中から毎年自動車切手が発行されます。それも切手先進国である欧米各国からも発行されますので、収集の材料には事欠きません。多量の切手があるので整理にも相当時間がかかりますが、それだけ長く切手に接して楽しめるということです。

2つ目は高額な切手がほとんどないので、収集しやすく、保管も扱っても緊張しないで済むので、楽し



15位

**カール・ベンツ1号車(西ドイツ・1982年)**

カール・ベンツが作った世界で最初のガソリン自動車  
が描かれている切手です。この車の切手は世界各国から  
発行されていますが、カール・ベンツの出身国であるド  
イツ発行の切手を選びました。



16位

**ポルシェ356・SC・カブリオレ(ザンビア・1987年)**

金箔切手で、世界の著名な自動車25種が切手になっています。ポル  
シェは、フォルクスワーゲンを作ったフェルディナント・ポルシェが会  
社を興して作った自動車で、日本でも大変人気があります。[90%]



17位

**ロールス・ロイス(イギリス・1982年)**

新旧のロールス・ロイスを描いています。世界中から  
切手が発行されていますが、本国から発行された切手  
を選びました。ロールス・ロイスは、世界のVIPが乗っ  
ている世界最高の超高級車です。



18位

**キュニヨー(北朝鮮・1985年)**

キュニヨー車は、エンジンで動いた世界最初の自動車です。  
1771年にフランスで作られた蒸気エンジン付き3輪車で、大  
砲を牽引するのが目的でした。ただし、直進のみで曲がること  
はできず、実用性はありませんでした。カーブで曲がりきれずに、  
世界最初の交通事故を起こしたといわれています。



19位

**ウィリアムホンダF1カー(マン島・1988年)**

イギリスは自動車レースがとても盛んな国で、周辺地域ま  
で含めると非常に多くの自動車切手が発行されています。こ  
の切手は、当時無敵だったホンダエンジンを搭載したウィリ  
アムSF1カーが描かれています。[140%]

20位



[115%]

**ジル133(ソ連・1986年)**

ソ連や共産圏の国の自動車切手は、トラックやバスを題  
材にしたものが多く、この切手はその代表的なものです。

みながら切手に接することができることです。3つ  
目の楽しみは、自動車切手を収集することで、さま  
ざまな自動車に接することができることです。実車  
ではいろいろな自動車を持つというのは簡単ではあ  
りませんが、どんな自動車でも切手でなら簡単に自

分のものにできます。自分の好きな自動車の切手を  
収集して、眺めて楽しむのです。ロールスロイスも  
フェラーリも切手なら簡単に入手できます。

**自動車に対する日本と欧州諸国の評価の違い**

自動車切手は、日本ではあまり発行されておらず、

21位



### タトラ(チェコスロバキア・1989年)

パリダカールラリーのタトラトラックを描いています。タトラは、毎年パリダカールラリーに出場し、トラック部門で大活躍しています。

22位



### 2階建てバス(香港・1991年)

2階建てバスはとても人気があり、ロンドンや香港では観光名物になっています。その中から、レトロ感のある香港バスを選びました。

23位



### 消防車(イギリス・1974年)

最初の消防自動車である1904年型車。消防車の切手は世界各国から数多く発行されていますが、格調高いイギリスの切手を選びました。

24位



### 救急車(ベリーズ・1988年)

救急車を描いた切手は多くありますが、この切手ほど赤十字マークが明確に描かれ、救急車とわかる切手は多くはありません。

25位



### 郵便車(ジブラルタル・1999年)

郵便車と郵便配達員を描いています。郵便車を描いた切手は非常に多く、世界中のほとんどの国が発行しています。

26位



自動車博物館の郵便車を描いたこの切手は、ダットサンの型式がわかる日本で最初の切手です。

※8〜9ページ、特記外、切手原寸。

今後の発行も非常に少ないと思われます。しかし、切手先進国である欧米各国からは本格的で立派な自動車切手が発行されており、今後も自動車切手の発行計画が次々と発表されています。日本と欧米では、自動車切手の発行の考え方が大きく異なっており、これは自動車に対する評価が異なるからです。

欧米では、自動車、特にクラシックカーは文化財としての位置づけで、日本での貴重な骨董品のように取り扱われています。日本には全国で数カ所しか

ない自動車博物館も欧米では各地にあり、クラシックカーから現代の自動車まで展示されています。ドイツを例にすると、国立の立派な自動車博物館があり、膨大な自動車の収蔵品があります。さらに民間の博物館も多数あり、ドイツ全土では合計で100カ所以上の自動車博物館があります。また自動車の発展に貢献した先駆者たち、例えばカール・ベンツ(9位)、ゴットリーブ・ダイムラー(10位)、ルドルフ・

## コラム② 世界最初のガソリンエンジン自動車

世界最初のガソリンエンジン自動車は1886年に造られたカール・ベンツの3輪車(①)、4輪車ではゴットリーブ・ダイムラーの第1号車(②)が自動車業界では定説です。

しかし、フランスやベルギー、オーストリアなどでは異論を唱えています。フランスとベルギーは、1863年にベルギー人ルノアールがフランスで作ったガスエンジン車(③)、またはオーストリアは1874年に作られたマーカス車(④)が世界最初だと主張しています。たしかに、ルノアール車もマーカス車も1886年以前の車ですが、作られた台数が数台で終わり、以後、継続生産されませんでした。その点、ベンツやダイムラーは、最初の車以後もさらに改良した車を作り続け、今日の自動車業界の基礎を築きました。自動車業界への貢献度による大小で評価が分かれたようです。



①ベンツの3輪車  
(西ドイツ・1982年)



②ダイムラーの4輪車  
(アルバニア・1994年)



③ガスエンジン車  
(ベルギー・1986年)



④マーカス車  
(オーストリア・1971年)

〔70%〕

※カコミ内、特記外、75%縮小。

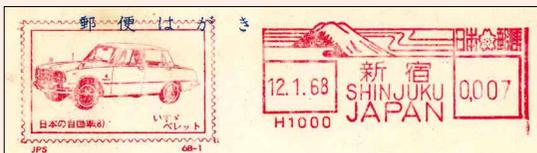


28位

**ホンダF1カー  
(パラグアイ・1972年)**  
大統領訪日を記念して発行された切手です。日本の代表として、メキシコグランプリで優勝したホンダF1カーが描かれています。

### コラム③ JPSの自動車メータースタンプ

このメータースタンプは、JPSが発行したもので、いすず・ベレット車が描かれています。1968年1月12日の日付です。この時代は、マイカーブームが起きた時代で、日本中がマイカーブームで熱中したものです。JPSもマイカーブームにあやかっただけでしょうか。



いすずのベレットが図案のJPSメータースタンプ。[70%]

27位



**アイルトン・セナ  
(ブラジル・2000年)**

アイルトン・セナは、非常に人気のあるF1レーサーで、多くの切手の中から母国発行の切手を選びました。

29位



**省エネ(ドミニカ共和国・1979年)**  
省エネを啓蒙する切手。エネルギーの消費削減は世界的な問題で、自動車の大きな課題の1つです。



30位

**メルセデス・ベンツ300SL  
(モナコ・1975年)**

スターや著名人に好まれた自動車で、今でも世界の憧れの自動車です。



31位

**ランボルギーニ・カウンタックLP500  
(イタリア・1985年)**

日本でも大流行したスーパーカーを代表する自動車です。本国からの発行。

32位



**フェラーリ330P(ベルギー・1996年)**

フェラーリ330PのGTカーを描く。ベルギーのスパフランコルシャンは、有名な自動車レース場で、F1とGTカーレースが特に有名です。

33位



**フォードT(アメリカ・1998年)**

フォードT型は、世界で最も売れた自動車の1つで、設計・生産・販売など今日の自動車の基本になっています。

ディーゼルなどは、日本での文化人と同じような位置づけで評価されています。それゆえ、自動車切手は日本の国宝切手や文化人切手の発行と同様な感覚で発行されているのです。

### ■自動車切手収集の問題点

自動車切手収集の問題は多数ありますが、一番の問題は世界各国から多くの自動車切手が発行される中、その半数以上が怪しげな国からの発行だということです。自動車愛好家の立場でみるとなかなか良い切手もあるのですが、こうした国から発行された切手を収集対象にすべきかどうか迷うところです。

### ■おわりに

自動車切手の収集は、切手収集の中ではマイナーな存在で、普段脚光を浴びることはありません。しかし、今回の「自動車切手ベスト50!!」でもわかるように、他の切手収集のテーマと同様、極めて変化と多様性に富んでいます。多くの方に興味を持ってもらえれば幸いですし、これからも楽しみながら自動車切手を収集していきたいと思っています。

(本文・切手解説・コラム：井上知治)

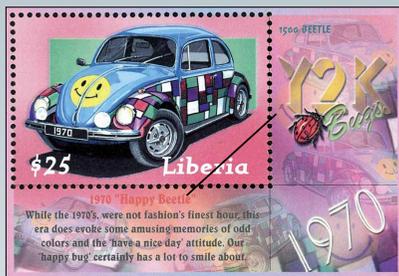
[参考資料] 『世界自動車切手図鑑』(JPS自動車切手部会)、『自動車の世界史』(グランプリ出版)、『トヨタ博物館誌』(トヨタ博物館)

34位



### フェラーリ625F1カー (モナコ・1967年)

グランプリカー切手15種のうちの1つです。当時大変人気で、以後、同方式で世界中から多くの自動車切手が発行されるようになりました。



### 35位 フォルクスワーゲン・ビートル (リベリア・2000年)

フォルクスワーゲンは世界のベストセラーカーで、世界中から多くの切手が発行されています。その中から最もデコレーションされたビートルを選びました。[80%]

36位



### ジャガーEタイプ (イギリス・1966年)

ジャガーは名車中の名車で、中でもスポーツカーのEタイプが最も人気があります。

※10～11分、特記外、切手原寸。



37位

### ボルボPV831 (スウェーデン・1992年)

スウェーデン特有の単色切手で、非常に格調高くボルボを表現しています。



38位

### パッカード900(ジャージー・1992年)

パッカードは、アメリカの高級車の1つで、この切手はパッカードの特徴を良く表現しています。

39位



### パジェロ(南アフリカ・1992年)

三菱パジェロのラリー車を描いています。外国では自動車レースはスポーツの一種で、スポーツのジャンルで切手が発行されることがよくあります。



40位

### 交通事故(フランス・1981年)

飲酒運転撲滅を啓蒙する切手です。自動車の最大のデメリットが交通事故であり、なかでも飲酒による事故が多発しています。

41位



### 排気ガスを出す車 (スウェーデン・1979年)

排気ガスによる公害も自動車のデメリットの1つで、世界各国で対策が急がれています。

42位



### タクリー号(モルディブ・1989年)

タクリー号は、日本人が造った最初の本格的な自動車。「ガタクリ」走ることからタクリー号と呼ばれました。[80%]

## コラム④ 現存する唯一の「トヨタAA」型車

右の切手は、オランダが2014年に発行した切手で、オランダにある世界的に有名な「ロウマン自動車博物館」を記念した10種連刷シートの中の1枚です。描かれている自動車は、「トヨタAA」型車です。

「トヨタAA」は1936年から生産されたトヨタ自動車初の量産車で、約1,400台が生産された記念すべき車になります。この記念すべき車

を1980年代にトヨタ自動車が総力をあげて探しましたが、1台も見つかりませんでした。

「ロウマン自動車博物館」に収納されている「トヨタAA」は、2000年代にシベリアで発見されたもので、「ロウマン自動車博物館」が難題を克服して入手したものです。なぜシベリアかというと、満州で日本軍が使用していたものを進駐



◀「トヨタAA」を描く  
オランダの切手(2014年)。「90%」

したソ連軍が略奪し、ウラジオストクに持ち帰り、それをシベリア在住の農夫が引き取ったからです。これが現存する唯一の「トヨタAA」型車です。(協力：中島一成)

43位



**アルファロメオ2500  
(イタリア・1950年)**

アルファロメオは、イタリアを代表する自動車です。日本でも人気があり、特に赤いスポーツカーは大変人気があります。

44位



**ピックピック(スイス・1980年)**

ジュネーブ自動車ショーに合わせて発行された切手で、ピックピックはスイスで作られたクラシックカーです。

45位



**マツダ323・4WD(ベトナム・1991年)**

マツダのラリーカーを描いています。疾走するラリーカーの雰囲気がよく伝わってくる切手です。[90%]

46位



**ボルボ・連結バス  
(スウェーデン・1977年)**

スウェーデンの切手は、自動車切手でも格調高い出来栄えて人気があります。

47位



**日野トラックKZ30000  
(ベトナム・1990年)**

印面記載のKZ30000は日野の型式表になく、現地独自の表記? [90%]

48位



**ボルボ740(ブルガリア・1992年)**

ボルボは共産圏の国から多数切手が発行されています。[90%]



**トヨタ・ランドクルーザー(西サハラ・1992年)**

発行国に難ありますが、トヨタランドクルーザーにふさわしい力強いデザインで、トヨタマークも見映えます。[90%]

49位

**シボレー・コルベット  
(ネービス・1985年)**

この様式で、多数の自動車切手が発行されています。人気はありますが、発行国に難ありでランクは50位でした。[80%]

50位



## 「JPS自動車切手部会」のご案内

当部会は、全国の自動車切手収集家・愛好家が集まり、1997年4月に発足しました。発足以来、今日まで休むことなく例会の開催と会報を発行しています。他にも日本各地の自動車博物館の見学、スタンプショーでの共同展示会、JAPEXブースでの展示販売、フレーム切手の製作など精力的に活動を楽しんでいます。

いま、最も力を入れている活動は、名古屋郊外にあるトヨタ博物館が計画している「トヨタ博物館で4,000枚の自動車切手の常設展示」への協力です。このような企画はトピカル切手としては初の試みで、自動車切手部会は全面的に協力す

る予定です。

自動車切手は、クラシックカーをはじめ、乗用車・トラック・バス・モータースポーツ・消防車・救急車・軍用車・パトカーなど多彩な種類があり、切手収集も変化があって楽しいものです。皆様のご参加をお待ちしています。

### 【自動車切手部会概要】

■会員数：24名

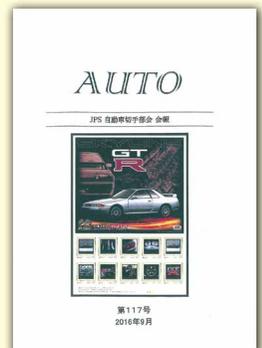
■例会：年6回、奇数月第4日曜日、14時40分～、切手の博物館3階会議室

■部会報：「AUTO」カラー 12頁(年6回)

■年会費：2,400円

### 【お問い合わせ】

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪3-6-14  
牧野克彦 ☎03-3335-6557



▲自動車切手部会報『AUTO』  
(年6回/奇数月発行/カラー12頁)。